

2024年6月20日

各 位

株式会社三井住友銀行

オリックス不動産投資法人への「サステナビリティ・リンク・ローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、オリックス不動産投資法人（執行役員：三浦 洋/以下、「OJR」）に対し、同社策定の「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）に基づくサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPT」）を設定し、貸出条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

OJR は、2001 年 9 月に設立され、オフィスビルを中心に商業施設、住宅、物流施設、ホテル等様々な用途の不動産に投資を行う日本で最初の総合型 REIT です（2002 年 6 月に東京証券取引所不動産投資信託証券市場に新規上場）。2024 年 2 月 29 日現在で 6,961 億円（取得価額ベース）・111 物件の資産規模を有しており、運用理念に基づき、広範な事業専門性と全国ネットワークを活用し、OJR ならではの柔軟な成長戦略により、投資主価値の安定的成長を推進しています。

OJR は、投資主価値の安定的成長を目指すという運用理念に基づき、2019 年 2 月に環境・社会・ガバナンス（ESG）の視点を取り入れた、サステナビリティ上のマテリアリティ（重要課題）を特定しました。それぞれの課題に目標を設定し、目標達成に向けた PDCA を回し達成することで、2015 年に国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」という世界共通の社会課題の解決と本投資法人の中長期的成長の実現を図ります。本ローンでは以下の SPT を定め、達成への動機付けとして、SPT の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

【本ローンの概要】

| | |
|-------|---|
| 契約締結日 | 2024 年 6 月 18 日 |
| 実行日 | 2024 年 6 月 20 日 |
| 契約金額 | 30 億円 |
| 契約期間 | 5 年 |
| 貸付人 | 三井住友銀行 |
| KPI | 借入人の保有物件における CO2 排出量（スコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 のカテゴリ-13 のうち管理権原を有する部分） |
| SPT | 2026 年 3 月 31 日を終了日とする 1 年間の KPI を、基準年（2021 年）の KPI 比 18.7%以上削減 |

本フレームワークについて、国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則（2023 年版）」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022 年版）」に適合する旨の第三者評価を、株式会社日本格付研究所（JCR）より取得しています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

(参考)

オリックス不動産投資法人ホームページ：
<https://www.orixjreit.com/>をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者評価の詳細：
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。